

やっほー

やまびこネットワーク情報誌 VOL. 5 5

発行日 平成21年1月27日

編集 地域づくりネットワーク長野県協議会

事務局(長野県総務部市町村課地域振興係内)

電話 026-232-0111(内線 2127)

FAX 026-232-2557

E-Mail s-shinko@pref.nagano.jp

URL <http://zuku.umic.hp/yonet/>

「第3回北信濃地域づくりサミット in 蔵の町・須坂」を開催しました

北信ブロックの交流研修事業として、北信支部と合同で、「蔵の町」として有名な須坂市を会場に「第3回北信濃地域づくりサミット in 蔵の町・須坂」を平成20年11月8日(土)に開催しました。

当日は初冬の肌寒さも幾分感じられたものの、100名を越す参加者を得て、盛大に開催することができました。

午前中は、ボランティアガイドの皆さんの案内により、明治から昭和初期にかけて“製糸の町”として栄えた頃の蔵の町並みが残されている須坂市中心部の散策を行い、「蔵の町・須坂」の魅力の一端を参加者の皆さんに感じていただきました。昼食は、「信州須坂味噌料理の会」の皆さんのご協力により、現在町おこしの一環として売り出し中の、須坂市特産の味噌や信州の伝統野菜に認定されている「村山早生ごぼう」を使った「味噌すき焼き丼」を各店舗でご賞味いただきました。



【ボランティアガイドの説明のもと散策する参加者】

午後は、第1部として小諸市のまちづくりにご尽力されているまちづくりプランナーの荻原礼子さんに『「信州大好き！まちの底力が輝くとき」～小諸の住民参加のプロセスから～』と題し、講演いただきました。市民参加の施設計画のプロデュース等に携わり、住民パワーにより街の魅力を引き出してきたご自身の経験を拝聴し、「多くの人を巻き込みながら、まちを歩くことや語る会といった地道な活動を長く続けることにより、地域に埋もれている人材や資源を掘り起こし、それをどのように現在の状況にマッチさせていくかが重要である」等のアドバイスは、今後のまちづくりを考える上で、大変参考になりました。

第2部では、「地域資源を活かした“共創”のまちづくり」をテーマに、地元で活躍中のNPO法人NEXT須坂の専務理事塩野谷孝一さんのコーディネートにより、荻原さんのほか、各分野でご活躍されている方々によるパネルディスカッションを行いました。須坂市で取り組んでいる「共創」（「住民、行政が共に町を創る」という意）をキーワードに、各パネリストの皆さんから地域資源を活かした「共創」の具体的な取り組みをお聞きし、「共創」の大切さを改めて再確認できました。



【まちづくりのノウハウについての講演会の様子】

コーディネーター・パネリスト紹介

NEXT 須坂 専務理事	塩野谷孝一 氏
まちづくりプランナー	荻原礼子 氏
花いちもんめの会 師匠	田辺雅夫 氏
シャワーの会 代表	芋川恵子 氏
北信州の森と家をつなぐ会事務局長	田中忠 氏
みゆき野アート蔵 理事長	森徳壽 氏

「楽しもう地域活動交流会 まちづくり夢を楽しく語り応援する会」を開催しました

平成 20 年 11 月 22 日(土)上田市真田公民館を会場に、東信ブロック大会「楽しもう地域活動交流会 まちづくり夢を楽しく語り応援する会」を実施しました。当日は 20 名が参加し、少人数ながら内容の充実した交流ができました。

1 まちづくり夢を語り応援する会

日々の生活や活動をしている中で感じている「もっとあんなっらしいのに」「こんなことしたいんだけど」「もっとこうすればおもしろいのに」という、まちづくりに対する想いや夢を語っていただき、参加者全員がそれを共有し、応援していくきっかけにしたいとの考えで企画しました。

夢を語るといっても、ただ語るだけではなく、その夢を本当に実現するため、参加者全員に3段階で採点してもらい、表彰数字的な評価だけでなく、感想や実践的なアドバイス、また、実際に協力できる人は、連絡先などを書いて発表者に手渡しました。

5つの団体から発表があり、採点の結果、1位の夢は52点を獲得した「上田のすてき会」さんでした。すてき会さんは、上田市にある景観的に「すてき」だと思ふところを独自に選定し表彰を行ったり、まち歩きをして上田のすてきを探したりしている団体です。今回語っていただいた夢は上田のすてきを結ぶコースをつくり、そのコース沿いに山野草を植えてまち歩きをする人に楽しんでもらいたいというものでした。他の発表者の夢も魅力的なものが多く、発表された夢のうち、その実現に向けて話が進みつつあるものも大会後に出てきたようです。

発表団体の中で、採点により評価の高かった団体には、上小支部会長から表彰が行われました。



【まちづくりへの想いや夢を語る発表者】



【竹内会長から表彰をうけた上田のすてき会さん】

2 フリートーク交流会

語る会の後は、お昼を食べながらフリートーク交流を行ないました。「まちづくりの楽しさをどうやったら関わったことのない人へ伝えることができるか」というテーマを設定し話を始めましたが、どちらかという、自分たちの活動の紹介や現状の発表となり、計らずして参加した団体同士の課題の共有ができました。

3 団体紹介パネル展示

開催時間中、会場内へネットワークのメンバーであるなしにかかわらず、6つの団体に活動紹介のパネルを展示してもらい、参加者の皆さんに休憩時間中などを利用してご覧いただきました。

また、大会終了後も継続して展示を行ったため、同じ会場で開催された上田市教育委員会主催の生涯学習シンポジウムへの参加者へも活動紹介を行うことができました。

地域づくりネットワーク長野県協議会（やまびこネットワーク）に新しい仲間が加わりました

内山キラキラプロジェクト（佐久支部） 設立 H18年6月 会員数 8人

【主な活動内容】「佐久高原コスモス祭り」にて野外ライブ、民話朗読会 等

まちづくり協議会みよた（佐久支部） 設立 H18年4月 会員数 18人

【主な活動内容】森林整備事業、地域振興のための地産地消、都市との交流会 等

日本装飾美術学校（諏訪支部） 設立 H13年4月 会員数 14人

【主な活動内容】環境保全や景観に関する活動、特産品開発 等

「自分たちのため」「地域のため」やまびこネットワークへの加入を呼びかけ、仲間の輪を広げよう！

地域づくりフォーラム 中信ブロック大会を開催しました

地域づくりネットワーク中信地区(木曾・松本・大北支部)の会員と地域づくりに関わる方々の相互の交流を深め、新たな活動のきっかけをつかむ場として、平成 20 年 11 月 29 日(土)、松本市「松本ホテル花月」において「地域づくりフォーラム 中信ブロック大会」を開催しました。

各支部から約 30 名の参加があり、平成 19 年度に「地域発 元気づくり支援金」を活用した団体による事例発表や「まつもと城下町湧水群 水巡りウォーキング」などを通じて、情報交換や交流を図りました。

1 各地域の「地域発 元気づくり支援金」活用団体による事例発表

地域	団体名(市町村名)	事業名
木 曾	王滝村ずくだそ応援隊(王滝村)	やる気で千人きっかけ村づくり事業
松 本	千鹿頭の緑と環境を守る会(松本市)	千鹿頭山山頂への山ツツジ植栽事業
"	NPO 法人北アルプスブロードバンドネットワーク(松本市)	北アルプス登山情報支援システム整備事業
大 北	農具川環境美化委員会(大町市)	河川花いっぱい活動

中信ブロックの各地域において優良事例に選定された事業や特徴的な事業を実施した団体の代表者4名からそれぞれの取組について事例発表が行われました。

一例として、「千鹿頭の緑と環境を守る会(松本市)」は、松本市神田地区の住民が一体となり千鹿頭山を市民の憩いの場に再生した活動を発表しました。代表の百瀬和彦会長は「周囲の自然も自分たちの庭として守っていく意識をさらに広めていきたい」と今後の取組への意気込みを語り、大きな拍手を受けていました。



【事例発表会場の様子】

2 まつもと城下町湧水群 水巡りウォーキング



昼食交流会を挟み、午後は「まつもと城下町湧水群 水巡りウォーキング」を行いました。「まつもと城下町湧水群」とは、松本城周辺地域に存在する数多くの井戸や湧水で、平成 20 年 6 月に環境省「平成の名水百選」に選定されました。

松本市の公式観光ホームページ「新まつもと物語」の市民記者として活動されているスタッフ 8 名の皆様にガイドをお願いし、日常的に住民が生活水に使っている井戸や、あまり知られていない水辺スポットなど 11 箇所を 1 時間半かけてゆっくりと巡り歩きました。

参加者はスタート時に配られたペットボトルを使って、気に入った井戸の水を汲んでおみやげとして持ち帰っていました。

車では進入できない細い路地を歩くことが多く、「水の街・松本」の新たな魅力を再発見された方が多かったようです。

皆様も是非「水」をテーマに松本の歴史や街並みを歩いて楽しんでみませんか。

「水巡りマップ」は、松本の市街地にたくさんある湧き水や井戸と小川に加え、見どころやお店、歴史的な背景などを、スタッフの口コミ的観点で紹介している地図で、双六も付いています。松本駅や松本城前の観光案内所などで配布しています。また、松本市公式観光ホームページ「新まつもと物語」の「松本水物語」のページから PDF ファイルで入手可能です。

(<http://youkoso.city.matsumoto.nagano.jp/water/>)



【まつもと城下町の湧水】



【ペットボトルに水を汲む参加者】

地域づくり団体全国研修交流会(愛媛大会)

きなはいや伊予の国 ~広げよう地域づくりの輪~

平成20年11月14日(金)・15日(土)の2日間、第26回地域づくり団体全国研修交流会が愛媛県宇和島市を全体会場に、また、県内15箇所を分科会場に開催されました。

地域づくりネットワーク長野県協議会からは2団体3名が参加し、全国各地で地域づくり活動に取り組んでいる団体と情報交換等を行うなど交流を深めました。

全国研修交流会 愛媛大会に参加して

小布施景観研究会 北村 登夫

私が参加した第6分科会の会場は、愛媛県の最西端、日本一細長い半島「佐多岬半島」に位置する伊方町です。

まずはこの町の概要をご紹介します。人口は約1万3千人、瀬戸内海と宇和海に挟まれ、風光明媚で温暖なこの地域では、たわわに実る温州みかん等の柑橘類やリアス式海岸の好漁場がもたらす新鮮な魚介類など、多くの自然に恵まれているため、漁業と農業が基幹産業です。また、原子力発電所と風力発電50基があるエネルギー資源の豊富な町でもあります。漁業は海岸の平地に小さい集落と漁港があること、また、農業は長野県内の里山にあるような段々畑にみかん等が栽培されているのが特徴で、その景観は素晴らしく大変見事なものでした。

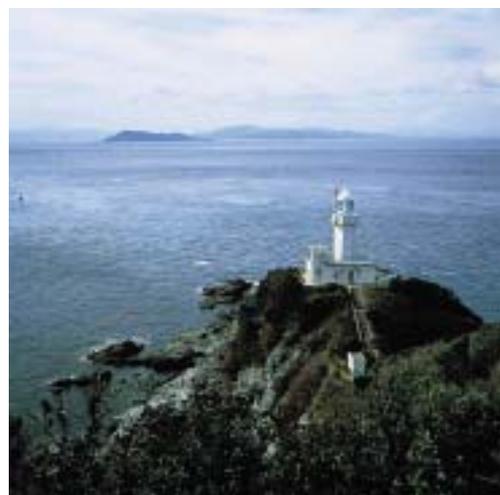
さて、私たちは13日(木)に宇和島市で開催された「前夜祭」から参加しました。参加者はおよそ200人、会場内にはブースが設置され、そこには、15分科会の活動紹介を行う小冊子や町の特産品のパンフレット等が置かれていました。また、中央付近には魚介類・酒類のテーブルが配置され、魚介類はさすがに新鮮なものばかりでした。セレモニーは短く、アトラクションは太鼓の披露が行われました。お酒が入るにしたがって、次第に私の名刺交換も活発になり50名以上の方と情報交換(歓談)ができ、用意していた名刺が1時間もたないうちに無くなってしまいました。その夜は、ホテルでの宿泊となりました。



【前夜祭のアトラクション】

次の日は、いよいよ大会当日。南予文化会館で全体会を行った後、すぐに伊方町の分科会場へ出発しました。会場まではバスで2時間かかりましたが、見えるものと言えば海と段々畑のみかんだけ。何も無い山頂道路をずっと走り続け、途中で第二次世界大戦ハワイ海戦の特殊戦士を顕彰する九軍神の社須賀公園に立ち寄り、宮司の説明を聞いた後、ようやく会場に到着しました。地元の太鼓集団「風」による演奏を聴き、特産品の紹介を受けてから「夜なべ談話」となりました。各県・団体の活動の発表が美味しい酒と魚を堪能する中で行われ、ユニークな活動や成功した活動事例、他県の活動状況を知る大変有意義な談話となりました。その後、それぞれ宿泊場所のログハウスに分かれ、私は大分県、島根県、鳥取県の諸氏と一夜を共にすることになりました。他県の方は、県職員であったため、各県の地域づくりに対する思いや地域づくり団体の取り組み、また、活動状況等について意見交換を行いました。日本の政治や県の教育問題等にまで話が発展し、夜中の2時まで延々と意見交換をする楽しき一夜を過ごしました。

最終日は、大正3年に建造された「佐田岬灯台」を漁船に乗って見学しました。良き景色を満喫した後、帰路につくことになりました。二日間にわたる伊方町の皆様のおもてなしや思いやりの心、また素晴らしい景色を拝見させていただき、感無量でした。本当にありがとうございました。



【佐田岬灯台】

来年の会場は、九州の佐賀県です。全国の仲間と情報交換等を行う絶好の機会ですので、皆様のご参加をお願いします。